

CAMD セミナー

(Center for Development of Advanced Medicine for Dementia)

糖鎖生命工学 ～細胞に発現する糖鎖の解析と活用技術～

慶應義塾大学 理工学部 生命情報学科

佐藤 智典 教授

平成 25 年 10 月 11 日(金) 午後 4 時 00 分～
第 1 研究棟 2 階 小会議室

細胞に発現している糖鎖の構造と機能を解析するためには新たな手法を開発する必要がある。

我々はこれまでに、脂質単分子膜を用いた生体膜モデルによる糖脂質の集合構造と糖鎖認識の解析、糖鎖認識を阻害するペプチドの探索、糖鎖プライマー法による細胞の糖鎖生合成経路の解析と糖鎖ライブラリーの作製等を行ってきた。

工学的な観点から構築した手法を確立することで、生命現象の解明に貢献することを目指している。

連絡先: 認知症先進医療開発センター
センター長 柳澤勝彦(内線 6500)